

看護連盟 いばらき

第 47 号

2020 年 1 月 15 日号

茨城県看護連盟
水戸市緑町 3-5-35
TEL 029(225)3992
発行者 会長 山本かほる
info@ibaraki-kangorenmei.jp

謹賀新年



目次

新年あいさつ	2
看護職議員活動報告	3
令和元年度関東甲信越ブロックポリナビワークショップ・青年部ブロック会議に参加して	4
2019 年度 研修会報告	5
参議院議員 石田まさひろの軌跡・令和元年度日本看護連盟都道府県別会議報告	6
2019 年度関東甲信越ブロック看護管理者等政策セミナー	7
参議院議員 たかがい恵美子先生 講演・石田まさひろ参議院議員 国政報告会	8
施設紹介・私たちの支部・癒しのコーナー・ただいま育メン中	9
編集後記	10

2019 年度会員数
(R01.12)

5,101 名



新年あいさつ

茨城県看護連盟会長あいさつ



“看護躍進の年に”

茨城県看護連盟 会長 山本 かほる

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

会員の皆様には、日頃から看護連盟活動にご協力をいただき感謝申し上げます。

今年は本会が60周年を迎えます。この記念すべき年に、国内においては看護の日制定30周年、WHOが昨年採択したNursing nowキャンペーンにより「看護師・助産師の国際年」でも多くのイベントが計画されております。

昨年10月にはスローガンの見直しが提案され、新たなスローガンが新年度にご披露される予定になっておりますので皆さんとともに楽しみに待ちたいと思います。

2020年が、私達看護職にとって躍進の年になりますよう大いに盛り上げてまいりましょう。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

日本看護連盟会長あいさつ



謹んで新年のお慶びを申し上げます

日本看護連盟 会長 大島 敏子

昨年は、全国各地にもたらされた台風や大雨に心を痛めた一年でした。また、第25回参議院選挙では、組織代表の石田まさひろ参議院議員が、二期目の当選を果たし力強い結果を残すことが出来ました。ひとえに皆様のお力と感謝しつつ、会員数だけの得票が得られないことに力不足を覚えています。

令和を迎えた日本看護連盟は、創立60周年となりました。先輩看護職が時間をかけて築いてきた職能活動は、24時間365日ベッドサイドで病める患者と共にありました。今年は新たなスローガンとともに、臨床と看護政策を結ぶ情報発信にも力を入れていきます。

子年は、新しい生命力が想像される文字をあらわし「子孫繁栄」をもたらすそうです。人生100年時代を迎えるなか、看護連盟は会員を増やし、看護協会と共に今後とも国民の誰もが安心して暮らせる社会保障のあり方を構築しつつ、看護職の地位向上をめざして、さらなる政治参加に邁進して参りましょう。

茨城県看護協会会長あいさつ



公益社団法人茨城県看護協会 会長 白川 洋子

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、協会の運営にご支援いただきまして大変ありがとうございました。

さて、2020年はナース・生誕200年の節目の年になることから、nursing・nowキャンペーンを行っております。このきっかけになったのは、看護の発展は国連の持続可能な開発目標の3つの目標に貢献することが明らかになったことからです。

具体的には目標3として「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」、目標5として「ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う」、そして目標8の「包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する」を挙げております。

生誕200年に向けてのナース・ナウにおいては「看護の力で健康な社会を」を掲げあらゆる機会を捉えて、持続可能な開発目標と共に、看護連盟とのさらなる協力の下キャンペーンに取り組んでいきます。

今年は子年です。社会の中で看護職の果たす役割・期待は大きくその果実を増やしていくためには連盟と協会との理に合う協力があってのことです。

結びに、看護連盟会長及び役員、会員の皆様のご多幸を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



看護職議員活動報告



2020年 新年のごあいさつ

衆議院議員 あべ 俊子

お健やかに新春をお迎えのことと存じます。

新年の清々しい空気に、国会議員としての初心が熱く思い起こされます。昨年の自由民主党新人事では国会対策副委員長を拝命いたしました。診療報酬改定など、社会保障改革の節目となる年に、縦横無尽に活動できる役職を頂けましたのも、貴連盟のご支援あってのことと、感謝申し上げます。

日本の医療、社会保障は大きな転換期を迎えており、看護職自体の働き方についても変化を求められています。看護の世界も、他の分野同様に、AIやIoTを活用したデジタル化が進んでおりますが、患者とその家族に温もりを届けるという、看護職の役割を忘れることはできません。今年も、患者を中心とする多様な看護のあり方を常に考え、看護に誇りを持てる職場環境の整備に尽力して参りますので、忌憚ないご指導を何卒よろしくお願い申し上げます。

皆さまのご健勝と貴連盟のご発展を心よりお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。



自民党文部科学部会長 参議院議員
たかがい 恵美子

年頭にあたり、謹んで初春のお慶びを申し上げます。茨城県看護連盟の皆様におかれましては、ますますご清祥のことと存じます。平成から

令和への御代がわりを経て今夏には東京オリンピック・パラリンピックが開催されるとあって、日本はいま世界で最も注目される国となっています。国政においては、国民に寄り添う豊かな成熟社会を実現するための2040年に向けた新たな社会保障制度設計の議論が進められています。これからの看護職が地域の様々な場所で個性と専門性を活かして活躍できるよう制度整備することや、貴重な看護人材を育てる基礎教育の充実と一人ひとりの生涯を通じたキャリア形成支援の仕組みを整えていくことなど、私たちが取り組むべき政策課題は無限にあります。看護の可能性のさらなる拡がり信じ、各々の笑顔が輝く未来に向けて、お互い支え合い力を合わせてがんばりましょう。皆様のご健勝とご繁栄を心から願い、幸多き一年となることを祈念申し上げます。本年もよろしくお願い申し上げます。



部会長として文科大臣申し入れ



参議院議員 石田 まさひろ

茨城県看護連盟の皆様、あけましておめでとうございます。今年は夏のオリンピックが56年ぶりに日本にやってくる大きな年。2020年がすばらしい一年となりますよう心からお祈り申し上げます。

昨年は皆様のお力を頂き、二期目の当選を果たすことができました。選挙期間中は17日間で47都道府県を回らせていただき、皆様から温かな声援を頂戴しました。一票一票の重みをしっかり感じながら、自らの行動で皆様の期待に応えていく所存です。

昨年9月には、参議院において二度目の厚生労働委員会筆頭理事を拝命いたしました。他の会派(野党)との調整を行う、緊張感の高い役割を再び務めることができるのは、身の引き締まる思いです。議論をしっかりと前に進めていけるよう、鋭意、力を尽くしてまいります。

また、自民党においては副幹事長という役割も拝命しました。党の運営には欠かせないポジションですので、しっかりと努めて参ります。

そして当選直後から再び全国を飛び回っております。皆様からの温かいお言葉、そして「現場の声」は私の活動の原点です。その声を国政に届け、看護職が「今日も良い看護ができた!」と実感できる環境づくりのために、この6年間、再び尽力してまいります。



厚生労働委員会(発言)

看護職の皆様、現場の皆様と共に手を携え活動してまいりますので、今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



衆議院議員 木村 やよい

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年9月の第4次安倍第2次改造内閣において、総務大臣政務官を拝命しました。これまでの厚生労働行政とは違う分野での就任となり、身の引き締まる思いがいたします。

私の担当する分野は、情報通信、放送行政、郵政行政。人と人を、人とモノを、電波や光ケーブルやさまざまな手段を使って「つなげる」仕事です。人口減少社会のわが国の社会保障を持続可能なものにしていくために、情報技術の活用が期待されます。情報弱者とされる高齢者や障害のある方たちが取り残されることなく、活躍できる、そんな社会の実現に努めます。

日々の活動は、総務省ホームページ、動画チャンネルでご覧いただけます。

これからも女性、母親、看護職の視点を生かし、「誰もがより健康で活躍できる社会」を目指し、看護の代表の一人として、看護と政治をつなぐ役割を果たしてまいります。

本年も、ご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



令和元年度関東甲信越ブロック ポリナビワークショップ・青年部ブロック会議に参加して

Poli-Navi FES!!

日時：2019年12月14日(土)

13:00～16:30

会場：ホテルレイクビュー水戸



青年部委員副委員長（水戸協同病院）
武子 裕介

今回は「看護の未来を考える」というテーマで行われ、関東甲信越から104名の参加者があり、たかがい恵美子参議院議員がアドバイザーとして出席されました。他県からも埼玉県竹内会長、千葉県藤澤会長、栃木県の宮本会長、看護師の後藤水戸市議の参加もあり、盛大に行われました。

イベントでは職場環境の意見交換や、看護連盟についてのクイズ、健康体操を行い、青年部委員が積極的に声を掛けたり、盛り上げたりと会場は笑い声で包まれていました。

イベント終了後のグループワークではたかがい先生より講評を頂きました。

青年部ブロック会議では41名の参加があり、各県自県のPRを行い、GWでは今後の看護連盟の方向や役割について発表があり、熱い思いを感じ、ブロック会議を通して、横のつながり、情報交換ができ、あっという間の一時間でしたが、中身のある会議でした。



青年部委員（総合病院土浦協同病院）
鈴木 淳

本会は茨城県看護連盟サポートのもと、茨城県青年部が主体となり企画運営を致しました。参加人数は104名でした。

イベント企画の一つとして意見交換会がおこなわれ、「若手会員に対する青年部活動の理解」や「政治・政策の観点から社会保障などを学んでいく中で、私たちの働く環境をより良くしていくために青年部としてできることは何か？」などを討議しました。討議中は、何のために看護連盟が設立し活動しているかなど、まだまだ認識されていないのではないかといった意見が挙がりました。この理解が得られなければ政治参加に対する意識向上にはつながらないと考えました。

今後も若手会員を中心に啓蒙活動をおこないながら、組織の活性化につなげていきたいと考えます。



山本会長 挨拶



職場環境の意見交換



茨城県看護連盟 青年部委員



看護連盟について ○× ゲーム



たかがい恵美子参議院議員 挨拶



グループワーク



健康体操

2019年度 研修会報告

演題：「看護っておもしろい」

令和元年9月21日（土）

講師：ナイチンゲール看護研究所所長 徳島文理大学院看護学研究科 教授 金井 一薫 先生



水戸済生会総合病院 藤野 礼子

最近の臨床現場は、環境の変化が激しく、ついていく事に必死で、看護の楽しさを忘れていました。そんな時に、金井一薫先生の研修会に救いを求め参加しました。

看護とは、「患者の生活過程を整え、五感から快なる刺激を提供し、回復過程を促進すること。患者が心地よいと感じる居場所を提供することです。」と静かに、熱く語る先生の講義に看護の心が震え、やっぱり看護っていいな、早く患者さんの前に立ちたい心境に変化しました。そして、看護の5つのもののさしを活用して、患者さんの生活を重視し、命の尊厳を守るケアの提供を職場の仲間と共に実践し、看護の楽しさと充実感を体感したいと強く感じました。



演題：「今、看護の現場に求められるリーダーシップ」
～シェアド・リーダーシップ～

令和元年10月26日（土）

講師：国際医療福祉大学成田看護学部看護学科 講師 保田 江美 先生



JAとりで総合医療センター 園部 陽子

保田江美先生をお招きして「シェアド・リーダーシップ」について聴講しました。会場はJAとりで総合医療センターで行いましたが、県南地区を中心とした多くの病院や施設の方々が参加されました。

多くのリーダーシップ論がある中で、多様化した時代に合ったリーダーシップ論の一つにシェアド・リーダーシップ（以下SL）があることがわかりました。職場のメンバーが必要なときに必要なリーダーシップを発揮し、誰かがリーダーシップを発揮している時には、他のメンバーはフォローに徹するような職場の状態であると聞き、私にはとても心に響いた言葉でした。

私は、スタッフ全員がどんな形であれリーダーシップを発揮し、職場の活性化と人材育成に繋がれるようにSLを確立していきたいと思います。



演題：「看護経験の概念化」～エキスパートナースは現場で育つ～

令和元年11月16日（土）

講師：横浜市立大学看護キャリア開発支援センター長 淑徳大学客員教授 陣田 泰子 先生



水戸協同病院 中村 恵子

陣田泰子先生をお招きして開催された研修では、終了後の参加者の表情が笑顔であった事が印象的で、明日からまた看護を頑張ろうという意気込みを感じました。

研修の中で、看護経験の概念化、そして言語化を通して私が印象深かった患者様との関わりを振り返ると、自分がその時できなかった看護が今の自分の看護観であり、患者さんに関わる上で一番大切にしている事だと言う事がわかりました。また、看護経験を他の人に話す事で、自分の考えが一つとなり、これからも自分はこの看護観を大切にしていこうと新たな決意を感じる事ができました。毎日の業務が優先され、じっくりと患者様と向き合う事ができなくなっている現状がある中で、自分の看護観を見つめ直す良い時間になりました。このような貴重な研修を企画していただき、ありがとうございました。





参議院議員

石田まさひろの軌跡



看護問題小委員会

自民党看護問題小委員会が8月29日開かれ、令和2年度の看護関係予算概算要求について、関係団体を招き、要望を受け取った上で議論しました。7%ほどの増額要求となっています。

「特定行為に係る看護師の研修制度」関連事業が増額要求です。医師の働き方改革の議論に関連し、特定

行為研修の充実が求められています。来年度は引き続きの研修事業だけでなく、修了者の活躍できるシステムづくりや雇用についてのモデル事業も行います。「在宅看取りに関する研修事業」も死亡診断に関する法医学等研修の拡大を要求します。

また、看護業務の効率化も求められていますが、先進事例の収集と周知を行います。石田事務所でも周知への協力を考えています。



ハラスメント対策等

参議院選挙前の通常国会でハラスメント規制法が成立しました。これが後押しになり、医療現場における暴力・ハラスメント対策普及啓発事業を新規に始めます。e-ラーニング教材をつくり対策を周知します。

また、「看護の日」30周年とNursing Now in Japanの記念行事を開催します。



(出典：参議院議員 石田まさひろ活動報告No.049)



令和元年度 日本看護連盟都道府県別会議報告

日時：令和元年9月25日(水)
13:30～16:00
会場：ホテルレイクビュー水戸



第二副会長 秋葉 はつひ

今年度の県別会議が令和元年9月25日に、日本看護連盟より和田幸江幹事長が出席されて行われました。会議内容は第25回参議院選挙の結果を踏まえた、茨城県看護連盟としての総括を以下の項目に沿って詳細に報告されました。

- 1、応援する会の投票行動について
- 2、選挙運動について
- 3、茨城県看護協会との連携・協議
- 4、石田まさひろ議員の選挙活動について
- 5、国会議員、地方議員との連携について
- 6、日本看護連盟「選挙対策会議の活動について」



茨城県看護連盟としては獲得目標数には及びませんでした。しかし、今回の選挙は投票率が戦後2番目に低かったにもかかわらず、本県としては前回より得票数が伸びました。役員、支部長、看護協会、県議の先生方の選挙への意識の高揚が図られたことが、よい結果に繋がったと考察されました。また、医療、介護、福祉関係者が複数名立候補された中で、医療関係者のトップ当選を果たすことができたことは、今後の政治活動に良い影響をもたらすことと思います。

応援していただきました皆さま、ありがとうございました。

2019年度 関東甲信越ブロック 看護管理者等政策セミナー

開催日：令和元年11月16日(土)
～17日(日)
会場：東京ガーデンパレス



幹事(医療法人社団 常仁会
牛久愛和総合病院)
軽部 成美

この度、2019年度関東信越ブロック看護管理者等政策セミナーに参加させていただき、これからは、人は増えずに良い看護をするにはどうするのか。質を高めるためには、仕事の中身をどう置き換えていくのか。という新しい考え方の必要性を実感しました。グループワークでは、テーマを「看護は量から質の向上へ」とし、現場の課題をどう政策につなげていくのか。意見交換をする中、看護基礎教育の重要性を再認識しました。看護に関する課題は、自分たちの力で解決していくこと。それには看護の代表を国政に送ること。そして看護政策の実現につなげていくことが重要です。最後に、Nursing now 看護の力で健康な社会を!に看護師の一人として携われることを誇りに、日々前進してまいりたいと思います。今回、このような機会をいただき、ありがとうございました。



公益社団法人茨城県看護協会
常任理事 中島 貞子

令和元年11月16日と17日に関東甲信越ブロック看護管理者政策セミナーに参加させて頂きました。医療・看護を取り巻く環境の変化から看護職の役割拡大や質向上が求められる一方で、看護師不足や看護職の働き方改革、看護基礎教育の4年制の問題も引き続いている。石田先生の講演では看護師の質を上げるには、組織で一生かけて質をあげる。3年で一人前になるという言葉は聞くが、この言葉は皆が同じようにみている。皆同じではないという言葉に同感した。

現場の声を吸い上げ看護政策に繋げるには、議員の先生方や看護連盟の活動があって実現することを改めて感じる機会となりました。



総合守谷第一病院
看護部長 宮本 俊子

今回、この研修に参加し、日本看護連盟幹事長の和田幸恵氏や日本看護協会常任理事の荒木暁子氏の講義をいただき、看護連盟の歩みや看護協会の取り組み等について再確認をすることができました。また、一人一人の小さな力でも看護連盟が力を合わせ集結し問題の解決繋げていく重要性和政策を提言していく事の必要性を再確認しました。

少子高齢社会、人口減少の中、時代に合った医療・看護を提供できる仕組みづくりや働き方、看護教育等、現場の問題を発信する事や看護と政治の関係を正しく理解し、多くの看護職の方へ伝えていく事が必要であると感じた研修でした。



東京医科大学霞ヶ浦看護専門学校
副学校長 廣畠 千鶴子

今年度の看護管理者研修に参加させていただく機会を得ました。先輩看護師たちの熱い思いと国民の健康の為という使命観が、現在の看護職の役割と社会的地位などを築きあげたということを理解することが出来ました。看護協会から分かれて看護連盟を立ち上げ、看護協会が政策を作りそれを看護連盟が実現するために活動するという、協会と連盟の成り立ちを改めて学び大変勉強になりました。一人ひとりの力は小さくても、会員の力を結集し政策に繋げることで、これからの看護職を守ることが出来ると思いました。今、連盟の活動がいかに大事であるか痛感しました。大変有意義な研修でした。



水戸徳友会秋の例会及び懇親会（令和元年10月3日（木）） 参議院議員たかがい恵美子先生 講演



医療法人社団 常仁会 牛久愛和総合病院 下村 真理子

この度、水戸徳友会秋の例会が開催され、参加する機会をいただきました。その中で、参議院議員のたかがい先生の思い描く日本の未来についてのお話を聴講させていただきました。必ず訪れる人口減少・超高齢・多死の現実について、できることを考え、それに向けて取り組んでいるたかがい先生の姿勢に「いきがい」と「やりがい」を感じ、感銘を受けました。特に心に残っているお話は、超高齢社会の現実です。調査が始まった1963年は全国でわずか150人であった100歳以上の高齢者が、その後、年々増え続け、2018年においては7万人を突破しました。2050年には53万人に上ると予測されています。寿命ばかりが延びるのではなく、最期まで自分らしく生きる・生き終えたという人生であることが大切です。それは誰もが願う希望です。その希望を叶えるために、人生（いのち）に寄り添う「看護の技」、「看護の心」がこれから訪れる超高齢社会を乗り越えるキーワードになることを実感しました。



石田まさひろ参議院議員 国政報告会

日時：令和元年11月18日（月）
9:00～10:00
会場：看護研修センター



水戸第2支部長 木島 照美

令和元年11月18日（月）看護研修センターにおいて、石田まさひろ参議院議員から国政報告が行われました。看護連盟役員、看護協会から白川会長、常任理事さん等4名の方が出席されました。

石田まさひろ議員は、今回の参議院選挙で、医療福祉系の立候補者の中で最高得票を得て当選し、現在、厚生労働委員会筆頭理事、自民党副幹事長として活動されております。



石田まさひろ議員の報告の中で、看護の質の向上では、卒後教育の在り方や、看護師がベットサイドで寄り添うケアの充実を図ることが出来るよう、記録や書類の簡素化なども取り組んでいるという事でした。

12月14日（土）関東甲信越ブロックポリナビワークショップがホテルレイクビュー水戸で、1都9県約100名の参加で開催されます。今後も看護連盟の理解を深め、職場環境をよくするために、看護の未来について情報交換の機会が出来ることは、素晴らしいと思います。今回の様々な活動や課題の報告を受け、これからも、看護連盟の一員として努力していきたいと思っています。

施設紹介

丹野病院

看護部長 大内 悦子

当院は水戸市にある一般病床60床、療養病床60床の主に、急性期病院よりの受け入れ、施設との連携を図り、地域に根ざした病院です。

今年から地域とつながるイベントとして「健活クラブ」を開催、認知症サポート講座を開設し認知症になっても安心して暮らせる地域づくりの応援者を養成し、認知症の人や家族を見守り孤立状態にならないような支援体制を整えています。

世代も時代も違う職員で感覚の違いもありますが、地域医療に貢献し、良質な看護の提供をしていきたいと思えます。メンバーひとりひとりが楽しく仕事ができ「自分が行っている仕事には重要な意味がある」と感じ、患者・家族に笑顔があふれるような令和の新しい看護部を目指します。



私たちの支部

鹿嶋第1支部

支部長 本宮 裕美

大洗海岸病院、小山記念病院、鹿島病院、神栖済生会病院、介護老人保健施設鹿野苑、特別養護老人ホームセ・

シボンの6施設の職員で構成しています。

石田まさひろ先生の鹿行地区訪問の際は介護老人保健施設の鹿野苑にて石田先生と活発に意見交換を行い、直接、現場の声を届けることが出来、とても有意義な時間でした。

支部内の施設がわかれているので皆で集まって支部研修を行う事が出来ないため、それぞれの施設に看護連盟や石田先生のDVDを送り、研修をしていただきました。

また、7月に水戸駅前で行われた石田先生の遊説にも

9名参加し、石田先生の熱意を身近で感じることが出来、益々応援に力を入れることが出来ました。



癒しのコーナー

訪問看護ステーション春風 古沢 信子

子供たちの手も離れ自分の時間がもてるようになった今、私の癒しになっているものが2つあります。1つ目は、



仕事帰りや休日に好きな音楽を聴きながら目的地のないドライブに行くことです。車から流れる音楽と空間が心地よく、疲れを忘れてしまいます。2つ目は、今年生まれた孫です。もうすぐ1歳になりますが、会うたびに成長する孫とアンパンマンを観ながら、その天使の笑顔に癒されています。



ただいま育メン中

総合守谷第一病院

手術室 高橋 遣人

私は現在、5歳の娘を育てながら仕事をしています。

私の妻も看護師であり、ともに仕事をしながらの子育て中です。私の

職場には併設の保育園があり、幼稚園後の預かり保育や幼稚園が休みの日にも安心して子供を預けることができるため、子育てをしながら働く環境に恵まれています。

また、子供の体調が悪く迷惑をかけることも多々ありますが師長・主任はじめ職場の同僚が協力してくれていることが多く、周囲の環境に感謝しています。

平日は仕事と家事で中々遊ぶことが出来ませんが、私の家族は全員お風呂好きのため週末は近くのスーパー銭湯に行き一週間の疲れを癒しています。

育児は自分の思い通りにいかず悩むこともありますが自分も成長しながら子供の成長を楽しみたいと思います。



連盟からのお知らせ

2020年2月8日(土) 会員研修会③

演題:「リーダーの役割」～アサーティブに伝える～
 講師: キャリアコンサルタント・産業力ウンセラー
 須藤 昭彦 先生
 時間: 13:30～16:00
 会場: 東京医科大学茨城医療センター

2020年3月21日(土) 会員及び賛助会員研修会

演題:「セルフケアに活かそう! 指圧のツボは元気のツボ」
 講師: 学校法人 花田学園附属鍼灸院
 一般財団法人 東洋医学研究所
 院長 吉川 信 先生
 時間: 13:30～16:00
 会場: ホテルレイクビュー水戸

2020年度 茨城県看護連盟会員 入会受付中

日本看護連盟公認キャラクター みんな集まれ! 楽しいよ!!



レンコ

カンタ

皆さまのご入会を
お待ちしております。

- | | |
|-------------|---|
| 正会員 | 年会費 7,000 円 (日本看護連盟会費 5,000 円・茨城県看護連盟会費 2,000 円)
・看護協会会員であること。 |
| 特別会員 | 年会費 7,000 円 (日本看護連盟会費 5,000 円・茨城県看護連盟会費 2,000 円)
・正会員の経歴を有し、未就業で現在看護協会に入会していない方。 |
| 賛助会員 | 年会費 1,000 円
・看護連盟の趣旨に賛同して頂ける方であれば、どなたでも入会できます。 |
| 学生会員 | 年会費 無料
・看護学生で、看護連盟の趣旨に賛同して頂ける方。 |

お問合せ 茨城県看護連盟ホームページもご覧下さい。 <https://ibaraki-kangorenmei.jp/>

〒310-0034 茨城県水戸市緑町3-5-35 TEL: 029-225-3992 FAX: 029-232-8648 E-mail: info@ibaraki-kangorenmei.jp

東洋羽毛

睡眠セミナー 無料サービスのご案内

よく眠った人には、かなわない。

＊— 今よりもぐっすり、幸せな毎日のためのヒントがきっと得られるはずですよ —＊

東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。
 正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただきます。

◎医療安全対策研修、メンタルヘルス研修、学校保健委員会に対応した内容も行っています。

《テーマ例》

- ★睡眠習慣を整え、キラキラ輝く私に
- ★よりよく眠る為のヒント 睡眠6カ条
- ★体内時計を整えてよりよく眠る方法



東洋羽毛イメージキャラクター 桃井かおりさん

TUK 東洋羽毛北関東販売株式会社

セミナーに関するご相談は
お気軽にご連絡ください!

茨城営業所 ☎ 0120-461590

〒310-0842 茨城県水戸市けやき台 2-19-2

お詫び

看護連盟いばらき第46号(2019年10月25日発行)で下記の誤りがありました。
 お詫びして訂正いたします。

P09 国会見学 (誤) 相崎 恵子 (正) 柏崎 恵子
 P11 癒しのコーナー (誤) 山口 洋子 (正) 綿引 寿栄

編集後記

新年あけましておめでとうございます。
 元号が『令和』になり、初の新春を迎えました。
 昨年は夏の参議院選、秋には自然災害が多く発生し、会員の皆様にとっても激動の1年であったことと思います。
 今年1年が穏やかな1年になりますようお祈りしております。
 広報委員会は看護連盟の活動や情報を分かりやすく発信してまいりますので、今後も御協力の程お願い致します。
 (広報担当 幹事 宮澤たま子)

茨城県看護連盟相談窓口

皆様のお仕事や日々のお悩み、ご要望、
 どんな些細な事でも結構です。
 お一人で悩まず、ぜひご相談ください!
 (匿名でも大丈夫です)

☎ 〒310-0034 茨城県水戸市緑町3-5-35
 ☎ 029-225-3992 / ☎ 029-232-8648
 E-mail: info@ibaraki-kangorenmei.jp